

大阪・関西万博 「週報」のお届け

日頃、お世話になっております。

大阪・関西万博については、いろいろな報道やご指摘をいただいております。

なるべく客観的な事実関係を中心に別添の通りまとめ、週一回を目処に定期的にお届けしております。合わせて、準備活動の現状や今後の予定なども簡潔に記載させていただいております。

お時間ありましたら、より詳細なご説明に伺いたいと存じます。

経済産業省 首席国際博覧会統括調整官 茂木 正

(お問い合わせ先) 経済産業省 博覧会推進室 担当： 参事官 奥田 修司
総括補佐 阿部 尚行

直通： 03-3501-0289

今週のピックアップ!

「入場チケットの改善について」

2/25(火)、石破総理と武藤経済産業大臣は、全国知事会 大阪・関西万博推進本部(村井宮城県知事等)との面談の場において、入場チケットの改善等について公表。

- 1点目は、入場に特化した電子チケットである「簡単来場予約チケット」を導入する。パビリオン等の事前予約はできないが、万博 ID の登録なしに購入ができ、入場しやすさが大きく向上する。
- 2点目は、当日券の販売。チケットを持たずに夢洲に来ても、入場ゲート前で当日券を購入し、会場内に入場できるようになる。
- 3点目は、通期パスの割引と入場可能時間の拡大。4月、5月の早期来場者限定で通期パスを3万円から2万4千円に割り引くとともに、通期で朝9時から入場可能にする。
- さらに「手続きなしでも万博を楽しむことができるガイド」を公表する。事前予約をせずとも、万博を十分に楽しめることなどをPRし、誘客につなげていく。



(出典)博覧会協会 HP <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20250225-03/>

<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20250225-04/>

<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20250225-02/>

1. 海外パビリオン探訪

- それぞれ個性溢れる魅力的な海外パビリオンについて、経済産業省の担当者が毎週順不同で取り上げて紹介していくコーナーです。

① アイルランド



- アイルランドの伝統的な紋様として知られる「トリスケル」をベースにしたパビリオン。 3つの巴紋様はそれぞれ、国家としてのアイルランド、日本との関係、クリエイティブな協働の精神を表す。
- ナショナルデーの6/14(土)には、アイルランドのシンボルカラーであるエメラルドグリーンを身に着けた音楽家、ダンサー、パフォーマーが、アイルランドの祝日、セント・パトリックス・デーを祝う。

② モナコ



- 日本と地中海の「庭園」からインスピレーションを受けて造られたパビリオン。モナコの名門ホテル「オテル・ド・パリ・モンテカルロ」から運ばれてきた高級ワインやコニャックを、神秘的なワインセラー風ラウンジや、公国のプリンセスが愛したバラの花びらで装飾された展望テラスで味わうことができる
- ナショナルデーの6/28(土)には、大公銃騎兵中隊によるオーケストラやモナコ王立グレースバレエ学校によるバレエ・ダンス公演などが披露される。

③ 豪州



- 過去の国際的な大規模イベントで使用された建築資材などを再利用したパビリオン。外観は、オーストラリアのシンボルであるユーカリの花から着想を得たデザインで、国の活気と多様性を象徴。パビリオン内では、オーストラリアの最新技術、豊かな文化、ダイナミックな社会を体感できる様々な文化イベントやビジネス・プログラムを開催。
- ナショナルデーは 9/3(水)。

④ マレーシア



- 竹やオイルパームの幹など環境を配慮した資材で造られたパビリオン。夜にはライトアップされ、昼とは違う幻想的な装いを見せる。伝統的な食・舞踊・工芸・遊び、先端テクノロジーを使った没入型展示などを通して、マレーシアの多様な文化と活気ある経済を紹介。
- ナショナルデーは 9/8(月)。

2. イベント情報(開催日時:5/18～5/24)

今週に「2ヶ月前予約抽選」の受付が開始されたイベント(その旨を※で注記)中心に、開幕第6週(5/18(日)～24(土))に会場内で予定される主なイベントを紹介します。

□ぽかぽかプレゼンツ！SHOW-WA&MATSURI スペシャルライブ ※2ヶ月前抽選対象

- 開催日:5/18
- 場所:EXPO アリーナ「Matsuri」
- フジテレビ系列お昼の生放送バラエティ「ぽかぽか」に出演中！「昭和歌謡・昭和ポップスを現代に」というコンセプトで生まれた、秋元康プロデュースの SHOW-WA と MATSURI によるスペシャルパフォーマンス！



□EXPO2025 日本盆栽・水石展

- 開催日:5/19-22
- 場所:EXPO メッセ「WASSE」
- 日本を代表する盆栽を多数展示。当日は、盆栽の展示だけでなく、プロによる解説、デモンストレーションの開催も予定。

□Digital Twin Perspectives — 現実と仮想が描く都市の未来 ※2ヶ月前抽選対象

- 開催日:5/20-24
- 場所:ギャラリー WEST
- 没入感のある VR 体験を提供する HMD と振動や重力を体感可能なチェアを組み合わせた空間体験デバイスを開発。3D 都市モデル(PLATEAU)や万博会場の 3D モデルを統合し、バーチャルとリアルを行き来する新たな走行体験を来場者に提供することで、我が国のデジタルツイン技術を発信。その他、PLATEAU に関する展示を実施。



□新居浜太鼓祭り ※2ヶ月前抽選対象

- 開催日:5/21
- 場所:EXPO アリーナ「Matsuri」
- 新居浜太鼓祭りで運行される豪華絢爛な太鼓台が出場し、迫力の演技を披露。かき夫(山車の担ぎ手)体験もあり、日本の祭りを通じて、世界中の皆さんと心おどるワクワクを共有します。



□NTT Day 超歌舞伎 〈CHO-KABUKI〉Powered by IOWN『今昔饗宴千本桜 Expo2025

ver.』 ※2ヶ月前抽選対象

- 開催日:5/24-25
- 場所: EXPO ホール「シャインハット」
- 2016年に初演された古典歌舞伎の『義経千本桜』と、初音ミクの代表曲である「千本桜」の世界観から着想を得、歌舞伎の様式美とNTTの最先端のテクノロジーの先進性が融合した唯一無二のエンターテインメント作品。



□【大阪ウィーク～春～】 関西医科大学が取り組む人にやさしい近未来の医療

- 開催日:5/18
- 場所:ギャラリー WEST
- がん領域における光免疫療法や新薬開発、匂いによって免疫機能を活性化する感覚創薬技術の実用化、ゲノム情報に基づく個別化医療、iPS細胞を活用した再生医療等の独自の取り組みについて紹介。また、未来の医師育成を念頭に医療技術に関する体験型の展示も予定。



□【大阪ウィーク～春～】八尾の芸術文化・アートを体験しよう やおうえるかむコモンズによる八尾市の芸術文化・アートを体験できる日

- 開催日:5/18
- 場所:ギャラリー EAST
- 会場ではアートプロジェクションによるこれまでの八尾市の芸術文化の歩みの紹介、やおうえるかむコモンズメンバーによるフォトスポットの展示やイラスト・似顔絵作成などの体験型ワークショップなど気軽にアートを体験できる空間を演出。



□東日本大震災からのよりよい復興(Build Back Better)

- 開催日:5/19-24
- 場所:EXPO メッセ「WASSE」
- 復興庁及び経済産業省は、「未来のコミュニティとモビリティウィーク」において、未来社会に向けた被災地の復興をテーマとした展示を実施。復興庁では「震災伝承・災害対応」、「食・水産」、「最新技術」や「福島国際研究教育機構(F-REI)」などをテーマとする「復興のストーリー」を展示予定。経済産業省では、世界的にも未曾有の地震・津波・原子力災害の複合災害に直面した福島浜通り地域等が、社会課題解決の先進地として再生を目指すストーリーを展示予定。



□【ウズベキスタン】文化コンサートとエンターテインメントイベント

- 開催日:5/18
- 場所:EXPO ホール「シャインハット」
- 芸術家、音楽家、その他のパフォーマーによる文化プログラムとコンサート(演劇コンサート公演、ミュージカル公演、視聴覚公演)を予定。



□【オランダ】アートとクラフトのコモングラウンド

- 開催日:5/20-24
- 場所:ギャラリー EAST
- 日本とオランダの美術工芸品のコラボレーションの展示。



□【ブラジル】空飛ぶクルマ

- 開催日:5/23-25
- 場所:EXPO アリーナ「Matsuri」
- 「未来のコミュニティとモビリティウィーク」と万博のサブテーマの1つ「Connecting Lives」では、エンブラエルとパートナー企業がブラジルで製造した完全電動垂直離着陸機 eVTOL のプレゼンテーションが行われる。将来のモビリティに関する専門家とのディスカッションを検討中。



3. 関連する主な活動／発表

- 2/22（土）、武藤経済産業大臣が万博会場を視察。シグネチャーパビリオンや迎賓館、日本館を視察。また、視察を踏まえ、「中身について、国民の皆様に知っていただくような機会を持っていただけるよう、関係者が一丸となってPRをしていく」旨、意気込みを語った。



（経済産業省職員撮影）

- 2/21（金）、内閣官房国際博覧会推進本部事務局は「万博国際交流プログラム」について、令和7年1月末（申請期限）までに自治体から申請のあった交流計画10件（9自治体（3県6市区町））を第12次登録（最終）し公表。第12次申請までに登録された全交流計画は154件（95自治体（19府県76市区町村））。

新規に登録された自治体は、以下のとおり。

北海道東神楽町（ケニア）、東京都渋谷区（米国）、静岡県（中国）、滋賀県（バチカン）、京都府亀岡市（ウクライナ、中国）、大阪府堺市（チェコ）、大阪府八尾市（リベリア）、徳島県東みよし町（カナダ）、福岡県（フィジー）

（出典）内閣官房国際博覧会推進本部事務局 HP:

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/expo_suisin_honbu/topics/pdf/12_touroku.pdf



4. 今週以降の主な予定

□ EXP0 スクールキャラバンの当面の実施スケジュール等

日時	学校名（授業実施者）
2025/2/25（火）	西条市立丹原西中学校（株式会社 ZIZO DESIGN）@愛媛県
	名古屋市立あずま中学校（KDDI・日立）@愛知県
	東員町立三和小学校（パナソニック）@三重県
2025/2/26（水）	南越前町立今庄小学校（大塚製薬）@福井県
	錦江町立田代中学校（バスキュール・ミライセンス）@鹿児島県
2025/2/27（木）	高岡市立志貴野中学校（KDDI・日立）@富山県
	阿賀野市立安田中学校（関西送配電）@新潟県
2025/2/28（金）	西条市立田野小学校（アサヒ GJ）@愛媛県
	岐阜県北方町立南学園（カナデビア）@岐阜県

* メディア受け入れ可能な学校のみ抜粋

< 公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会のホームページはこちら >

<https://www.expo2025.or.jp/>

